

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宮崎県立宮崎海洋高等学校
授業者	作本 克亮

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

スクーバダイビング

1-2. 学年

3 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

水産

1-4. 単元の概要

スキンドайビング及びスクーバダイビングについて全般的に学習する。

- 1 スキンドайビング及びスクーバダイビングの器具
- 2 潜水の物理
- 3 潜水による障害
- 4 スキンドайビング及びスクーバダイビングの実技
- 5 宮崎の海と海洋環境
- 6 ダイビング実習

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・ スキンドайビング及びスクーバダイビングの基礎的な知識と技術を身に着ける。
- ・ 学校のプールで身に着けたダイビングの技術を用いて、実際の海で潜水実習を行う。
- ・ 実際の海で潜水実習をするだけでなく、地元の海について学習するとともに、実際に自分の目で海の現状を確認することで、これから先の海洋環境保全に対する意識づけの機会とする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ スキンドайビング及びスクーバダイビングについての基礎的な知識と技術
- ・ 地元の海に対する親しみとその海を持続的に活用するための海洋環境保全活動への興味

1-7. 単元の展開（全50時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンドайビング及びスクーバダイビングの器具</li> <li>・潜水の物理</li> <li>・潜水による障害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任による指導</li> <li>・使用教材 SKIN &amp; SCUBA DIVING MANUAL（国際ダイビングスクール協会発行）</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンドайビング及びスクーバダイビングの実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任による指導</li> <li>・使用教材 SKIN &amp; SCUBA DIVING MANUAL（国際ダイビングスクール協会発行）</li> <li>・授業場所 本校 25m プール及び 5m 潜水プール</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎の海と海洋環境</li> <li>・ダイビング実習</li> <li>・海岸清掃活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師 ダイビングショップ「GREET DIVERS」のダイビングインストラクター4名</li> <li>・授業場所 講義：本校教室 実習：宮崎県日南市大島周辺海域</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

地域の海やその保全活動についての講義と実際に海でダイビング実習を行うことにより、地域の海の実態を知るとともに海洋環境保全について考える機会とする。

地域の海を「知り」その海に「親しみ」をもつことで、これから先も持続的に地域の海を守ろうとする意識を醸成する。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"><li>外部講師から地元の海の現状やそこに生息する希少生物（ハマサンゴ等）についての講義を受ける。</li><li>海でのダイビング実習でこれまでに身に付けてきたダイビングの基礎的な技術を確認する。</li><li>海中の環境を自分の目で見るとともに実際の環境保全の手法について知る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実際の海でダイビングができるようになるための基礎的な学習（座学及び実習）については、教科担任が計画的に実施した。</li><li>地元の海の現状やそこに生息する希少生物（ハマサンゴ等）についての講義、ダイビング実習時のガイドについては、専門家の力なくしては実施できないことであり、外部講師（ダイビングインストラクター）に依頼した。</li><li>評価は教師の見取り評価と実習についての事後レポートで行った。</li></ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

今回の目的は、地域の海やその保全活動についての講義と実際に海でダイビング実習を行うことにより、地域の海の実態を知るとともに海洋環境保全について考える機会とすることと、地域の海を「知り」その海に「親しみ」をもつことで、これから先も持続的に地域の海を守ろうとする意識を醸成することである。

まずは、ダイビング実習の事前学習として実施した外部講師（ダイビングインストラクター）の講義により、より具体的で専門的な知識を得ることができた。実際の海でのダイビング実習では、これまでに身に付けてきたプールでのダイビング実習が功を奏し、海中でも安全に実習を進めることができた。また、事前学習で学んだハマサンゴ等の海中生物や海中の環境全般を実際に自分の目で見たことにより、海洋環境保全について具体的に捉えることができた。

最後に、実習場所である日南市大島の海岸に流れ着いた漂着ごみを全員で清掃してこの校外実習を終えた。

### 4. 今後の課題

今回は、本助成金を活用したことにより外部への委託、連携が可能となり、十分な成果を上げることができた。今後は、この取組に携わった本校の教師が、学校単独でも今回と同様の教育効果が生まれるよう工夫を重ねていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。